（別紙：様式２－１関係　宮城県がん情報の提供依頼に係る申出内容）

１　申出に係る情報の名称

都道府県がん情報

匿名化が行われた都道府県がん情報

法第２２条第１項第１号に掲げる情報

※１　がんに係る調査研究を行う者が，都道府県がん情報及び法第２２条第１項第１号に掲げる情報の提供依頼の申出を行う場合は，生存者については，がんに罹患した者の同意を得ていること（法第２１条第８項第４号）又は法附則第２条に基づく厚生労働大臣の認定を受けたことが分かる書類を添付する。

　　　　　　　　　　　　　　　　□　添付：同意取得説明文書，同意書の見本等

　　　　　　　　　　　　　　　　□　添付：厚生労働大臣の認定書等

※２　がんに係る調査研究のための全国がん登録情報又は都道府県がん情報の提供依頼申出である場合（法第２１条第８項）、提供依頼申出者が、がんに係る調査研究であってがん医療の質の向上等に資するものの実績を２以上有することを証明する書類等を添付する。

□添付：実績を示す論文・報告書等

※３　添付する書類が日本語訳で記載されていないものについては，日本語訳を添付すること。なお，論文の場合はabstract（要約）の日本語訳，報告書の場合は内容の要約の日本語訳で可とする。ただし，医学研究に詳しくない場合でも理解が可能なよう，わかりやすい表現に努めること。

２　情報の利用目的

（１）利用目的

下記のどちらに該当するかが明確に利用目的を記載すること。

記載にあたっては，20行以内をおおよその目安とし，がん以外の専門家にも理解できるようわかりやすく，簡潔に記載すること。

・がん対策の企画又は実施に必要ながんに係る調査研究のため

□　添付：様式３，委託契約書等又は様式４－１，研究計画書等

※　法第１９条に基づく申出において当該情報が匿名化されていない情報を含む場合、当該情報の利用が当該自治体の個人情報保護条例に基づく適正な利用であることが分かる書類を提出すること。

・がんに係る調査研究のため

□　添付：研究計画書等

※　添付する書類が日本語訳で記載されていないものについては，日本語訳を添付すること。なお，書類が膨大な場合には，窓口組織に相談の上，内容を要約した日本語訳で可とする。ただし，医学研究に詳しくない場合でも理解が可能なよう，わかりやすい表現に努めること。

（２）法第２１条に規定されている目的の研究である場合について

倫理審査進捗状況　　　承認済　　・　その他

その他を選択した場合の理由：

倫理審査委員会　名称　　　　　　　　　　　　　　　　　　　委員会

承認番号

　　　　　　　　　　　承認年月日

３　提供依頼申出者及び利用者について

ア　提供依頼申出者の情報

・法人その他の団体が提供依頼申出者の場合

代表者氏名

法人その他の団体の名称

法人その他の団体の住所

　　・個人が提供依頼申出者である場合

　　　氏名

　　　生年月日

　　　住所

　　イ　利用者の範囲（氏名，所属機関，職名）

□添付：様式２－３

□添付：調査研究の一部を委託している場合は，委託契約書又は様式４－２

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 連番 | 氏名 | 所属機関 | 職名 | 役割 | 利用場所 |
|  |  |  |  | 例）分析結果解釈助言  提供依頼申出者  統括利用責任者  分析方法助言  分析　　　　　　　　等 |  |

※全ての利用者分，行を追加すること。所属機関が複数ある場合は、すべての所属機関及び所属する機関における職名又は立場を記載すること。

４　利用する情報の範囲

（１）診断年次

年から　　　　年診断

（２）地域

宮城県　　　　　市・町・村

（３）がんの種類

例：胃

（４）生存確認情報

要・不要

イ　生存しているか死亡しているかの別　　要・不要

ロ　生存を確認した直近の日又は死亡日　　要・不要

ハ　死亡の原因　　　　　　　　　　　　　要・不要

（５）属性的範囲

歳以上から　　歳未満

歳以上

５　利用する登録情報及び調査研究方法

（１）利用する登録情報

別添「登録情報一覧」のとおり。

（２）調査研究方法（具体的に記載すること）

□　添付：集計表の様式案等

※１　集計表の作成を目的とする調査研究の場合

（１）で指定する登録情報等を利用して作成しようとしている集計表の様式案を添付すること。

※２　統計分析を目的とする調査研究の場合

実施を予定している統計分析手法並びに当該分析における（１）で指定する登録情報等の関係を具体的に記述すること。

６　利用期間

必要な限度の利用期間を記載すること

例：　年　月　日まで又は提供を受けた日から５年を経過した年の１２月３１日までの期間の短い方

７　利用場所，利用する環境，保管場所及び管理方法

（１）情報の利用場所

利用場所が複数ある場合は，すべて記載すること。

（２）情報の利用場所の組織的，物理的及び技術的安全管理措置状況について

（組織的）

＊以下、非匿名化情報の申請時に必須の項目

＊☐　統括利用責任者は、個人情報の漏洩等の事故発生時の対応手順を、整備している。

|  |
| --- |
| （具体的に記載） |

（物理的）

＊以下、非匿名化情報の申請時に必須の項目

＊☐　個人情報の利用場所及び保存区画は、他の業務から独立した部屋である。

＊☐　利用責任者は、利用場所への入室を許可する者の範囲を明らかにしている。

＊☐　利用責任者は、利用場所の入退室時の手続きを明らかにしている。

＊☐　機器類（プリンタ、コピー機、シュレッダなど）は、他の業務と共用せず、利用場所内に設置している。

＊☐　個人情報の保存区画の施錠は、前室と利用場所等、二重にしている。

|  |
| --- |
| （具体的に記載） |

（３）情報の利用時の電子計算機等の物理的及び技術的安全管理措置状況について

（技術的）

☐　システム管理者によって管理されている不正侵入検知・防御システム及びウイルス対策機能のあるルータで接続されたネットワーク環境を構築している。

☐　情報を取り扱うPC及びサーバは、ログインパスワードの設定を行っている。

☐　ログインパスワードを8桁以上に設定し、第三者が容易に推測できるものは避けている。

☐　ログインパスワードを定期的に変更し、以前設定したものの使い回しは避けている。

☐　ログインパスワードを第三者の目につくところにメモしたり、貼付したりしていない。

☐　外部ネットワークと接続する電子媒体（USBメモリ、CD-Rなど）を、情報を取り扱うPC等に接続する場合は、ウイルス等の不正なソフトウェアの混入がないか、最新のウイルス定義パターンファイルを用いて確認している。

☐　情報を取り扱うPC等は、安全管理上の脅威（盗難、破壊、破損）、環境上の脅威（漏水、火災、停電）からの保護にも配慮している。

|  |
| --- |
| （具体的に記載） |

＊以下、非匿名化情報の申請時に必須の項目

＊☐　個人情報を取り扱うPC等は、スタンドアロン又は物理的若しくは論理的に外部ネットワークから独立した有線の環境である。

＊☐　個人情報を取り扱うPC及びサーバは、生体認証と他の方法との組み合わせによる多要素認証としている。

＊☐　情報を取り扱うPC及びサーバにチェーン固定等の盗難防止策を講じている。

|  |
| --- |
| （具体的に記載） |

（４）情報，中間生成物及び成果物を保存する媒体の種類及びその保管場所並びに保管場所の組織的，物理的及び技術的安全管理措置状況について

（物理的）

☐　情報を含む電子媒体及び紙媒体を保管する鍵付きキャビネット等を整備している。

☐　情報を保存するロッカー、キャビネットは、施錠可能な利用場所に設置している。

|  |
| --- |
| （具体的に記載） |

８　調査研究成果の公表方法及び公表予定時期

複数の媒体で公表予定の場合は，公表予定時期を含めて全て記載すること。

例：　年　月頃　○○がん学会学術集会にて発表予定

年　月頃　○○がん学会雑誌に論文投稿予定

年　月頃　ＨＰに公表予定

９　情報等の利用後の処置

例：情報の移送用のＤＶＤ ：裁断

サーバ・コンピュータ内の情報及び中間生成物：〇〇を使用しデータ消去

試行的に作成した集計表や中間分析結果等の中間生成物の印刷物：〇〇において溶解

10　その他

※事務担当者及び連絡先等を記載すること。その他，必要事項があれば記載すること。

事務担当者及び連絡先

氏名：

TEL：

MAIL：

住所：